

# スタッフコラム

## 花尻薫先生との植物観察の思い出

ほうしのう  
「胞子嚢がやや中央寄りに集まるとるやろ」「鱗片のつき方が粗いやろ」そう言って、足元に生えるシダについて事細かに教えていただいた。10年前のことである。前熊野古道センター長で今年1月、87歳で亡くなられた花尻薫先生との植物観察の一コマである。「明日は育生町(熊野市)にシダを採集に行くので、車を出してほしい」。またある日は、「七里御浜の防風林帯で調査するので手伝えてほしい」と。私の野帳には、計7回にわたり花尻先生との植物観察(採集)が記録されている。当時、私は生まれ故郷の尾鷲にUターンしたばかりで、東紀州地域の植物の分類には疎く、特にシダ植物の分類については浅学だった。

さて、今回紹介する右写真のカワゼンゴとアオネカズラの標本は同行した際、花尻先生が採集したもので、長い間、新聞紙に挟んで保管していたものである。企画展開催のため整理していたら保管棚から未整理の状態がたくさん見つかった。一つ一つを標本整理していると、あんなことも言っていたな、こんなことも話していたな、と記憶が蘇ってくる。半世紀にもわたり植物を研究し続けた先生。仙境でもきっと優しい眼差しで植物を愛でているにちがいない。



花尻薫さん採集の標本



花尻 薫さん

# 三重県立熊野古道センター

The Letter from Mie Prefecture Kumano Kodo Center からのてがみ

2020 夏  
No.55

今秋開催の企画展は

# 長島神社例祭

船だんじり



船だんじり

## 川端守 センター長のひとりと NO.2 荷坂峠の観音さん



蛇留観音

荷坂峠の山頂、標高241メートル。伊勢から歩いて来た旅人は、左側に峠の茶屋を見、右側に二十段ほどの立派な石段を見て、その上に如意輪観音が坐しますお堂を見た。

伊勢参宮を経て、西国巡礼の一番札所を目指す巡礼たちが、峠から眺めた東紀州の山々や、熊野の海、そこは観音の浄土であり、あるいはそこへ出かける補陀落の海であったのだ。熊野の入り口で巡礼たちを迎えた観音さん。それは近世の熊野への旅人たちを、やさしく迎えてくれる熊野の仏そのものであったろう。

「蛇留観音」とも呼ばれた石像は、高さ41センチメートル、幅26センチメートル、厚さ21センチメートルの坐像だが、台座に「宝曆三西二月吉日」とあるから、西暦1753年頃には、この峠に坐っておられたろう。

昭和2年11月13日に大内山駅までやって来た紀勢東線は、昭和5年に紀伊長島、同9年に尾鷲まで開通したので、荷坂峠を越えて行った旅人たちもSLに乗って紀州へ入っていった。紆余曲折はあるが峠の観音さんも引越しを始める。最終的には昭和42年(1967)の3月、国道42号改修時に河内の現在地に安置された。「移動する石像たち」である。「大内山村史~文化財編」にこの観音さんの写真が掲載されているが、「左肩から右腕に至る破損修理の跡は痛々しい」との注記もある。峠の観音さんが祀られた跡地は、過日の大雨で流され、立派だった石段を含めて、なにもない。河内の人々に守られて移転した仏さんだけが生きのびている。

河内の観音・地蔵・庚申堂(大紀町指定文化財)

### センター敷地内「夢古道おわせ」

**お母ちゃんのランチバイキング**  
 営業時間 11:00~14:00  
 料金 中学生以上 ..... 1,400円  
 小学生以上 ..... 700円  
 4歳~小学生 ..... 300円  
 4歳未満 ..... 無料  
 65歳以上 ..... 1,200円

### みえ尾鷲海洋深層水「夢古道の湯」

深海415メートルから取水された海洋深層水のお風呂。ミネラル分が豊富で保温性に優れているので、湯上り後もポカポカです。

開館時間 10:00~21:00  
 入浴料 一般 ..... 600円  
 65歳以上 ..... 500円  
 4歳~小学生 ..... 300円  
 4歳未満 ..... 無料

お風呂あがりは、カフェでゆったり♪  
 毎月26日は 風呂の日  
 お子様は通常300円が 100円で ご入浴できます。

「夢古道おわせ」に関するお問い合わせは TEL.0597-22-1124



#### お車で越しの方は...

尾鷲北IC→坂場交差点を直進→「ホテルピオラ」さんがある交差点を右折→しばらく県道を海沿いに走り、案内看板を右折して到着です。(尾鷲北ICから約10分) ※尾鷲南ICからは約8分

#### 電車で越しの方は...

JR尾鷲駅下車→ふれあいバス「尾鷲駅」バス停(徒歩1分)、または三重交通「尾鷲駅」バス停(徒歩5分)乗車→「熊野古道センター前」下車

### 熊野古道センターからのてがみ 2020年 夏号

- 発行日:2020年6月20日(季刊)
- 編集・発行:三重県立熊野古道センター(三重県指定管理者 NPO法人熊野古道自然・歴史・文化ネットワーク)
- 編集担当:小島
- 連絡先:〒519-3625 三重県尾鷲市向井12-14 TEL 0597-25-2666 FAX 0597-25-2667 Mail info@kumanokodocenter.com
- 開館時間:午前9時~午後5時
- 入場料:無料
- 休館日:12月31日、1月1日(その他メンテナンス時休館)

熊野古道センター



検索

ホームページ

<https://www.kumanokodocenter.com/>  
60000200620RK

### 大漁祈願奉納行事

県内有数の漁獲高を誇る漁業の町・紀北町長島で行われる正月の伝統行事「船だんじり」は、かつお一本釣りを模した色鮮やかな山車が、生き餌に見立てた縁起ものの「福あめ」を勢いよく撒きながら、港から長島神社まで人波をかき分け練り進む祭りです。今秋開催予定の企画展では、この祭りの様子を詳しくご紹介いたします。



大神輿

# 旬の企画展



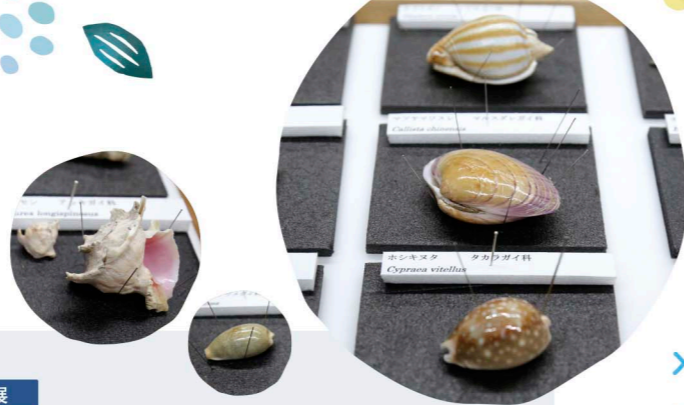
チョウの標本

## 企画展 標本が奏でる熊野のいきもの

東紀州地域の海・山などの自然に生息する哺乳類、昆虫、植物、貝類などの標本を展示紹介します。地域の生態系や分類、自然環境について学んでみませんか。

2020 **6/27(土) ▶ 8/23(日)** ●会期中無休

時間 午前9時～午後5時  
入場料 無料  
場所 企画展示室



貝類の標本

## 企画展 わが郷土のお祭り 長島神社例祭 船だんじり

県内有数の漁獲高を誇る漁業の町・紀北町長島で行われる伝統行事「船だんじり」を紹介いたします。

2020 **9/5(土) ▶ 10/11(日)**

●会期中無休  
時間 午前9時～午後5時  
入場料 無料  
場所 企画展示室

### 担当者からの見所Point!

企画展では、伝統行事「船だんじり」のほか、長島神社例祭で行われる一連の行事も動画映像や写真パネルで詳しく紹介します。実際に使用される全長10mの船神輿も展示しますので、皆様是非ご来場下さい!



弓の誘



## 特別展示室企画展 三隅俊昭 作品展

### 四つの季のうた 2020 ちょっと、ハッピーに…。

和歌山県那智勝浦町出身の画家 三隅俊昭氏の抽象画作品展を開催します。

2020 **7/4(土) ▶ 9/6(日)**

●会期中無休  
時間 午前10時～午後5時  
入場料 無料  
場所 特別展示室

### 三隅さんからのmessage

『なんじゃこれは?』抽象画をみて咳かれる方が多いです。自分好みの色やカタチ、絵肌のザラザラ感や凸凹のシルエットなどのんびり探して下さい。想像力UP!!免疫力UP!! ハッピーな気分になりますよ。



三隅俊昭氏

熊野・那智乃瀧山水図

## お知らせ

### 〔NEW〕三重県立熊野古道センター公式ホームページが新しくなりました!



熊野古道伊勢路の情報や、当センター主催企画展及びイベントの最新情報を発信する公式ホームページがリニューアルしました。スタッフブログやSNSによる旬の情報配信も随時更新中です。ぜひ、チェックしてみてください。

## LINEともだち募集中! check!

当センターでは旬のイベント情報をお伝えするメールマガジンを毎月1回配信しております。もっと手軽に情報をゲットしたいという方のために、LINE配信をはじめました。ぜひご登録ください。

# LINE@

LINEアプリの友だちタブを開き、画面右上にある友だち追加ボタン(QRコード)をタップして、コードリーダーでスキャンしてください。



## Guide & Tips

### がいなもんじゃ熊野 不思議な景観を旅する

日本有数の多雨地・大台ヶ原と修験道の根本道場として知られる大峯山系に降った雨を集めて流れ下る北山川。下流で熊野川本流と合流し、熊野灘へと注いでいる。かつては筏流しにぎわったこの川は、上流に敷設されたいくつかの大規模ダムにより、水量が調整され、以前の暴れ川のイメージはもうない。

この北山川の特徴はなんといっても大きく孤を描きながら流れ下るところだ。長い年月をかけ、地質が脆弱なところを削り取りながら、形成された大蛇行の流れ。写真は三重県熊野市紀和町の山の頂付近から撮影した北山川の流れである。孤島のように見えるところが熊野市木津呂地区で、対岸の雲がかかっているところが和歌山県新宮市の飛び地熊野川町だ。

山稜に佇み、しばし自然が奏でる音に耳を傾けていた。やがて聞こえてきたのは、観光客を乗せたジェット船のエンジン音だった。この自然景観に不釣り合いな音が、うねる谷間を駆け抜けていった。筏師の音がこだまするにぎわいは、もうここにはない。



北山川の大蛇行



### 小さなお地蔵さま

熊野古道センターの小さなお地蔵さまを紹介します。職員が手造りした竹製の祠と那智黒石の道標が目印です。道標には伊勢路の各峠から熊野三山まで彫られています。ご来館の際にはこの可愛らしいお地蔵さまを見つけてほっこりしてくださいね。

### ロケットストーブで石焼き芋

1980年代にアメリカで開発されたロケットストーブは、原理や仕組みがシンプルで化石燃料を使わないエコな調理道具として、キャンプなどで楽しむ人もいますが、燃料をその場で調達でき、ライフラインが断絶した場合にも火を焚くことができるという点から防災用品としても役立つため、東日本大震災の時には注目を集めました。

当センターでは、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため約2か月間の臨時休館が明け、初めて迎える5月24日(日)に、このロケットストーブを使って石焼き芋を作り、来館者に試食していただきました。じっくり時間をかけて作った石焼き芋はホクホクととてもおいしいと喜んでいただきました。今後も野外イベントの際には登場する予定ですので、当センターのイベント情報をチェックしてぜひご家族でご来館ください。



ロケットストーブ

## 和歌山県世界遺産センターからのお知らせ

お問合せ先 和歌山県世界遺産センター  
住所 和歌山県田辺市本宮町本宮100-1  
TEL 0735-42-1044  
FAX 0735-42-1560  
E-mail e0624002@pref.wakayama.lg.jp

新緑が美しい季節となりましたが、新型コロナウイルス感染防止のため、当センターがある世界遺産熊野本宮も4月25日から5月31日まで臨時休館となっております。また、昨年度は延べ54団体、2,125名の皆様に参加されました参詣道保全活動(道普請)も、本年度に入ってから未だ実施出来ずにいます。

世界遺産は顕著な普遍的価値を持ち、「人類共通の宝物」と言われます。世界遺産を通して人々が交流し、文化や価値観の多様性を認識し合うことで、平和へつなげることも世界遺産の大切な役割の一つです。その世界遺産の一つ「紀伊山地の霊場と参詣道」の「良好な保全」及び「適切な活用」が円滑に進むよう当センターでは、世界遺産セミナーを年4回程度開催しています。本年度はまず、9月6日(日)13時からかつらぎ町総合文化会館で「丹生明神の道～世界遺産三谷坂の歴史と美術～」について講演を行う予定になっています。

令和2年3月の道普請参加団体(敬称略)

和歌山県世界遺産マスター全体研修会(熊野)、観光振興課ファミツアー



### 道普請とは

文化財保護専門職員による指導のもと、参詣道の保全活動(土入れ・側溝清掃等)を行っていただくものです。ボランティア活動・CSR活動として、毎年、多くの皆さまに参加していただいています。